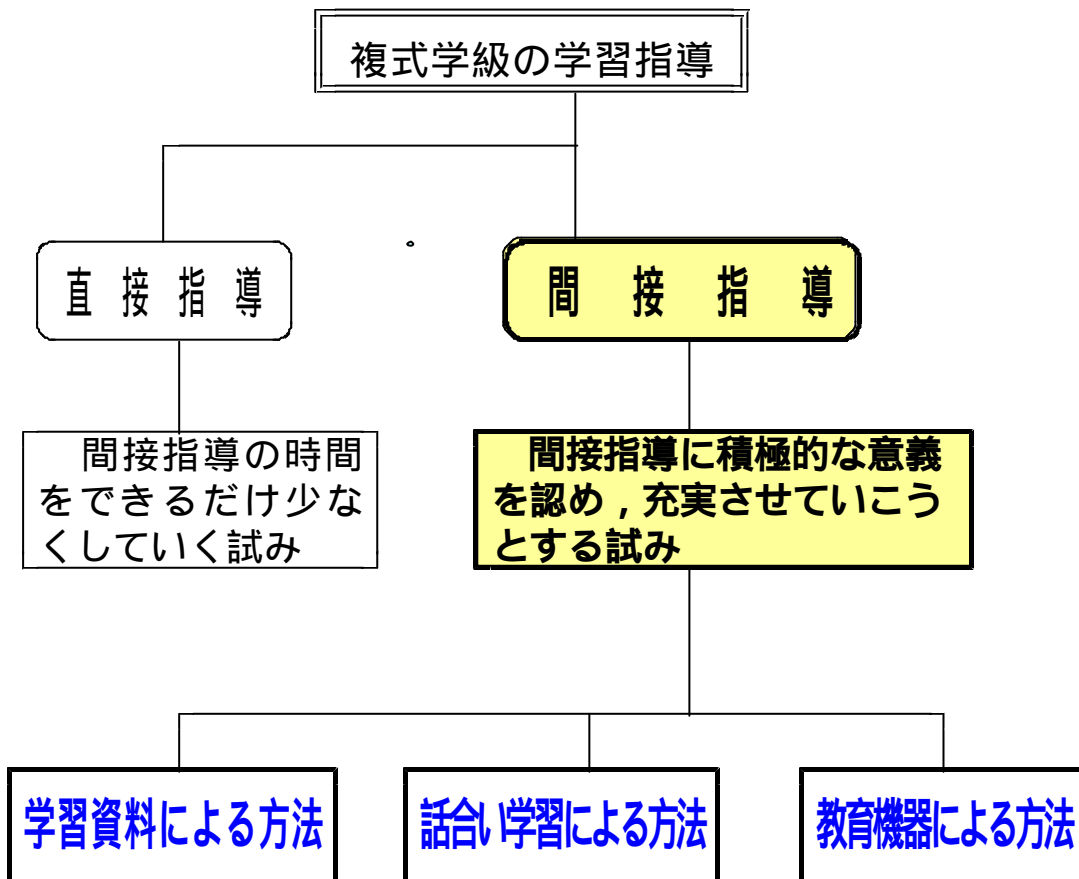


## 間接指導の進め方

### 間接指導の基本的な考え方

直接指導時の場合と同じねらいで設定した学習内容  
児童だけで自主的に学習を進めていく方法や態度を身に付ける機会

### < 間接指導の三つの方法 >



## 間接指導上の留意点

1 学習指導の目標の明確化（共通目標，学年目標）

2 両学年の学習内容の分析及び直接指導との組合せ

3 学習目標の確実な理解・把握

4 学習計画の立案と十分な理解

- (1) 具体的で，分かりやすい計画を立てる。
- (2) 子どもだけで解決できる内容を設定する。
- (3) 時間内に解決できる内容を設定する。
- (4) 学習課題は，習熟の程度に応じて選択できるような工夫をする。
- (5) 時間内に評価できるように準備する。

5 一人一人に応じた評価と指導の工夫

6 「教わる学習」から「自ら学ぶ学習」へ

- (1) 学習の方法を繰り返し訓練し，体得させる。
- (2) 直接指導の時間になったら，間接指導時における質問事項などを報告できるように習慣付け，指導の参考にする。
- (3) 教師から習うという受動的な態度から，自らの力で解決したり，助け合って解決したりしていく自主的な学習態度を身に付けさせる。
- (4) リーダーの世話による学習の進め方を身に付けさせる。ただし，指導を加えないと学習がうわすべりになるくらいがあるので注意する。

7 一人学習に対応できる学習環境の工夫（学習に役立つ参考書，事典類）

8 教師の的確な発問・指示・資料の提示（プリント・小黒板・OHPシート等）

9 子どもの不安や動揺への配慮

## 学習資料の使用による間接指導

### 学習資料の種類

学習の手引

プリントやワークシート  
(練習やドリル用)

教科書，参考書，問題集，事典等

小黒板(学習課題・内容・方法等)

広幅用紙(単元の計画・課題・内容等)

## 話し合い学習（ガイド学習）

### 1 ガイド学習のねらい

- (1) 発表の仕方や聞き方の能力を向上させ、思考の深化を図る。
- (2) 学習の手順や学び方をつかませ、積極的な学習意欲を養う。
- (3) 学習の効率を高め、個別指導を充実する。
- (4) 話し合い、助け合いの場を通して社会性を養う。

### 2 ガイド学習の類型

類 型	内 容 ・ 方 法
カードによる学習	学習カードを基にしながら、学習進行の手順を身に付けるとともに、自主的、協同的な態度、学習集団の基礎づくりをする。
基礎学習	早く正しくできた子どもを「励ましガイド」にし、ガイドと遅れている子どもをコンビにして、助け合いによって学習集団の質の向上を図る。
強化学習	学習事項の習熟を図り、「ひびき合い」のある集団に高めていくとともに、討議学習の基礎づくりをする。
討議中心の学習	既習内容を基に、発展した課題に取り組む場であり、考えの出し合い、積み上げの発信で学習の深化を図る。

### 3 ガイド学習の学習過程での位置付け具体的な活動



## 教育機器による間接指導

### 1 各種視聴覚機器の種類

OHP	スライド	映画
TV	コンピュータ	VTR
テープレコーダー	シート式磁気録音機	

### 2 複式指導における教育機器活用のメリット

・学習効果の期待

・個人差に応じた細やかな指導

・主体的な学習態度の育成

・間接指導に効果

・言語表現能力の不足や社会経験の不足を補充

・時間的ゆとりと個別指導の可能性

### 3 機器活用上の留意点

ア 機器の特性を生かし，学級の実態に即応した活用の工夫

イ 学習過程での活用の位置付け，学習形態等の綿密な計画

ウ 児童自らが学習に活用できるための機器操作の技能の習熟

エ 機器活用時の学習訓練（学習のしつけ）の必要と主体的な課題追求の向上

